

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 4 月 24 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570812461
法人名	有限会社ふぁみりい
事業所名	グループホームふぁみりい
所在地	秋田県大仙市四ツ屋字古道66-9 (電話) 0187-66-8055
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年4月24日

【情報提供票より】 (平成21年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算	3.8人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り
	1 階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	16,800 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	240 円	昼食 360 円
	夕食	480 円	おやつ 120 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護 1	3	要介護 2	1
要介護 3	4	要介護 4	1
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 74.2 歳	最低 57 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	木村内科医院・仙北組合総合病院・岩田歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昨年、広大な敷地に新築、引っ越しされたホームで、その後同一敷地内にショートステイを立てられ、緊急時の協力体制が整ったホームです。今回、自動火災報知設備、スプリンクラー、AEDの設置によって、非常災害時に安心できる設備が完備されました。また、医療連携加算による24時間、重度化、終末期、看取りまで安心して生活していただけるように方針を共有され、配慮した生活支援が行われています。職員は、利用者の思いを汲み取り、意向に沿ったケアが出来るように心がけ、話しかけや話題の提供、維持・向上に努められ、ホームに閉じこもらず、外出支援を盛んに行っています。利用者が主体的にホームの一員としての役割や楽しみごとを持ち、明るく、笑い声のある和やかなホームを築かれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回の評価では、引っ越して間もないこともあり、地域との連携がとられていない状況でしたが、1年以上経過し、運営推進会議等を活かし、改善が観られています。また、その他、細かな点では、評価を活かされ、改善に取り組みられておりました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員全員でそれぞれが自己評価に取り組み、最終的に管理者がまとめて記入されています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	2か月に1度の定期的な開催が行われており、行政、医療関係者、地域住民、民生委員、利用者家族、利用者、事業所職員がメンバーとなっています。ホームの状況や行事の紹介、防災訓練、地域密着型としての取り組み、道路標識等の行政への要望、感染症やヒヤリハット、地域との連携による事故予防への取り組み等々、メンバーとの活発な意見交換によってそれを活かした取り組みが行われています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	契約時の説明や掲示によって、意見・苦情のあった場合の対応はできております。また、不安等、内容によっては、主治医や居宅ケアマネに協力依頼が行われ、納得のいく対処が行われています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議を通じて、地域の方々へホーム状況が伝えられ、買い物や散歩中の挨拶や言葉かけが行われ、地域の方へ畑の草むしりの依頼やお茶のご馳走、野菜のお裾わけをいただいたり、ホームの収穫祭への招待等、地域の一員としての活動が行われています。また、避難訓練では、地域の方々の参加・協力も得て実施され、日常的に地域との連携が図られています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から、利用者を尊敬し、その人らしく、安心できる空間と時間の提供と生活支援を理念に掲げ、地域との連携を盛り込んだ事業所独自の理念作り出しておられます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関と職員トイレ・ロッカーに掲示することで、常に目にすることが出来、実践に向けて日々取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や買い物時に挨拶や言葉を交わされ、畑の草むしりのお手伝いをいただいたり、お茶や野菜のお裾わけの立ち寄り、収穫祭での芋の子汁会への参加や、避難訓練への協力をいただく等、交流に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、評価を活かし、積極的に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議が、定期的に行われ、ホームの活動報告や行事、防災等々について活発な意見交換が行われ、地域との交流の為の具体策を話し合う等、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者のニーズに応じた市町村との連携でサービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回発行される写真入りのホーム便りによって、利用者の様子がわかりやすく伝えられる他、面会時や電話、メール、ファックス等で状況報告が行われております。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話での状況報告時の説明と意見・要望の引き出しが行われています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	自然体で新しい職員を受け入れやすいように自己紹介や話掛けによって、職員がフォローし合い、混乱もなく、受け入れられております。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内が公開され、希望者を募ったり、時には命令によって、皆が参加できるように配慮されています。外部研修に参加した職員から、勉強会において、復命研修が行われ、活用できるように話し合いが行われております。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大曲・仙北グループホーム連絡協議会に参加したり、離職後他のグループホームに移られた職員との交流等によって、情報交換が行われ、サービスの質の向上に繋げておられます。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、入居前の見学によって理解を得られるように工夫をされ、違和感なく入れるよう取り組まれております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居時や日々の暮らしの中で得た情報や生活歴から、これまでの生き方を理解され、利用者本位の生活支援ができるように、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中で一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように話し合い、把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、家族・主治医・訪問看護師等からの助言をいただき、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	半年を基準にケアプランが立案され、担当者会議によって話し合いが行われ、見直しが行われています。また、状態変化時には、随時の見直しが行われております。	○	モニタリングの記載方法に工夫されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の機能を活かし、利用者・家族の要望に柔軟な対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に利用されていたかかりつけ医や希望の病院受診が出来るように支援されている他、歯科検診、4週間に1回の往診や緊急時の往診、訪問看護との連携も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携によって、重度化した場合や終末期への対応、かかりつけ医の協力体制が整い、職員は、全員で方針を共有され、取り組まれています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、言葉かけや対応に配慮され、尊厳を持って接しております。また、記録にも十分に配慮されていました。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決められた日課についても、利用者本意の生活支援を念頭に接し、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を一緒に楽しみ、自然な形で下膳やテーブル拭き、食器拭きが行えるようにさりげなく声掛け、感謝の言葉が聞かれ、笑い笑顔が観られました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴を基本とし、入れなかった方や汚れのある方についてはシャワー浴等が行われ、清潔に配慮されています。入浴拒否の方が2名おられますが、タイミングを観ながら入浴できるように支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外気浴、近所の散歩、買い物、ドライブ、外食、理美容等々、希望に沿った外出支援が行われております。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中・夜間想定火災に対する訓練が、隣接のショートステイ職員、地域の方々の協力を得、消防署員立ち合いの下、年に2回行われております。また、自動火災報知設備、スプリンクラー、AEDを完備し、非常災害に備えています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況を把握され、食事摂取状況や水分量に配慮され、他施設の栄養士からのアドバイスを基に献立が作成され、栄養バランスのとれた食事が提供されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や臭い、光もなく、対面式のキッチンから食堂・ホールが眺められ、手作りの作品や水槽、植物、ソファの配置等が家庭的な雰囲気を醸し出し、居心地良く快適な共有空間を作り出しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳に座テーブル、テレビ、手作りの作品、カレンダー、時計等々、それぞれの生活空間を作り出し、居心地良く過ごせるような工夫が観られました。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。